

NRAO での滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻 博士課程 2 年 海老澤 勇治

今回、2018 年の 1 月 14 日から 1 月 25 日にかけて、アメリカの国立電波天文台(National Radio Astronomy Observatory: NRAO)に滞在した。Claire Chandler 氏のもとで研究を行い、NRAO の所有する大型電波干渉計 VLA (Very Large Array)の観測データの解析手法を学んだ。Chandler 氏と Philip Engelke 氏に、観測データの位相および強度のキャリブレーションの方法、人工ノイズの除去方法について教わった。一つ一つの手順について、正しくキャリブレーションが行われているか議論を重ねながら進めたことで、VLA の解析手法について理解を深めることができた。

また、滞在中には VLA の見学もさせていただき、VLA のオペレーターやメンテナンスを行っているエンジニアのお話を伺った。普段研究で使用している干渉計が現地でどのように運用されているか知ることは、自身の知見を広める貴重な機会であった。

今回の海外派遣をサポートして下さった ALPS の関係者の皆様、現地での滞在中でお世話になった NRAO の皆様に深く感謝申し上げます。



New Mexico Tech. 内にある NRAO の研究棟